



豊岡市の近年の人口動態と 2020年国勢調査速報・コロナ感染症の影響

中嶋 圭介

豊岡市地方創生戦略会議副座長／神戸市外国語大学准教授

2021年度第1回豊岡市地方創生戦略会議
2021年7月20日



1. 第1期地方創生総合戦略の総括



■ 2020年国勢調査速報値(77,519人)

- ・本市の総人口は、ほぼ基準推計に沿って推移している。
- ・そのことの評価は、「第1期地方創生総合戦略の総括」(2020年7月22日)から変更なし。

■ コロナ感染症の影響

- ・自然減の増加を社会減の減少が相殺する形となり、本市の人口減の傾向に対する影響は、一時的かつそれほど大きなものではない。
- ・自然減は、今後一時的により顕著となる可能性がある。その後、「産み控え」の取戻し効果があるかは不明。
- ・社会減は、コロナ収束後の経済回復状況次第。

■ 大学開学の効果

- ・2021年以降、教職員+学生の転入によって、一時的に転出超過が100人規模で減少すると考えられる。やがて同学から卒業生が輩出されるようになれば、地元就職が無ければ新入生との差引で社会増減への効果はゼロとなる。人口動態的效果をもたらすためには、定住(或いは、関係)人口として地元定着がカギとなる。

1. 2020年国勢調査速報(最新の総人口)

国勢調査実数値と推計値・目標値の比較

(人/年)

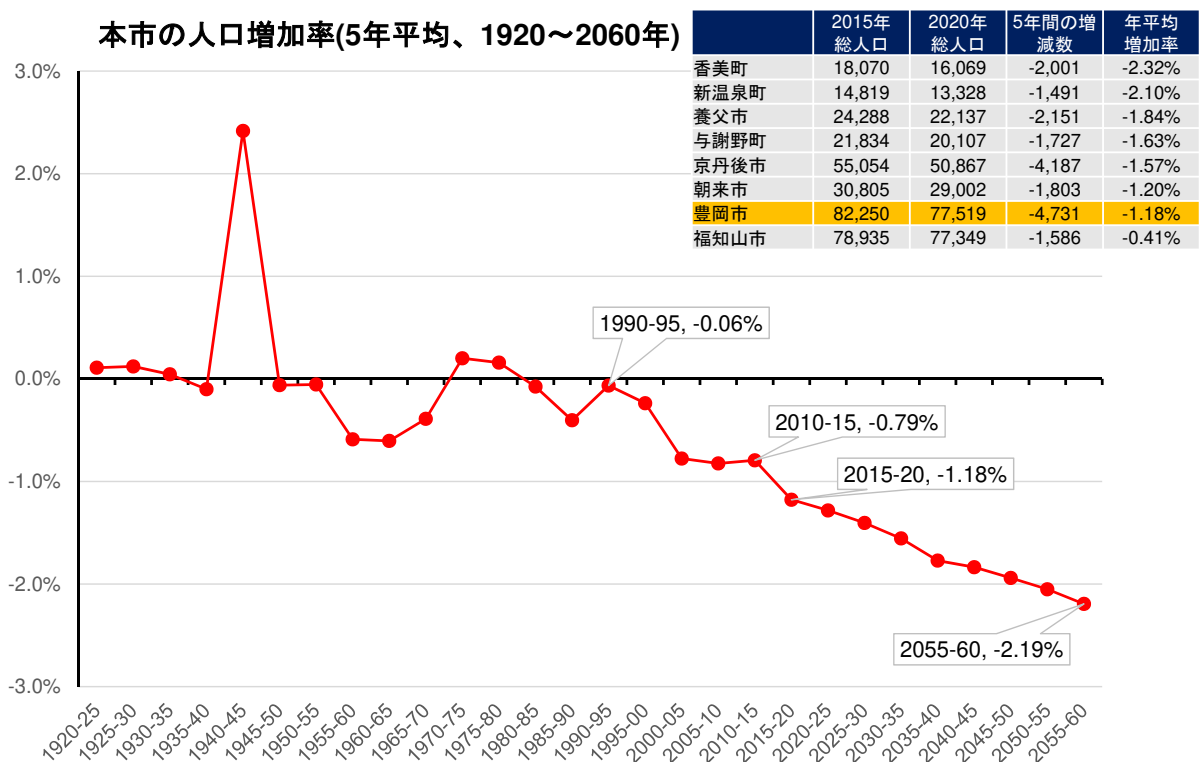
	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
国勢調査実数値(A)	85,592	82,250	77,519								
2019年基準推計(B)			78,210	73,322	68,319	63,170	57,770	52,660	47,746	43,047	38,529
2015年基準推計(C)		81,843	77,476	72,818	67,997	62,940	57,608	52,296	47,244	42,503	38,044
政策目標推計(D)		81,843	77,898	74,085	70,327	66,417	62,165	57,935	53,988	50,347	46,941

- ・ 2015年に「第1期地方創生総合戦略」を策定した際、当時最新の2010年国勢調査結果を基に「2015年基準推計」と「政策目標推計」を作成。
- ・ 2015年国勢調査結果(82,250人)は、「2015年基準推計」に対して**+407人**(A-C)。
- ・ 2015年国勢調査結果を基に、基準推計を更新(「2019年基準推計」)。
- ・ 2020年国勢調査結果(77,519人)は、「2019年基準推計」に対して**-691人**(D-C)、「2015年基準推計」に対して**+43人**(A-C)。

- ➔ 本市の総人口は、「基準推計」にほぼ沿って推移している(過去の減少傾向が続いており、創生戦略開始後も、統計で確認できる成果は見られていない)。
- ➔ そのことの評価は、「第1期地方創生総合戦略の総括」(2020年7月22日中嶋発表)を参照。

3

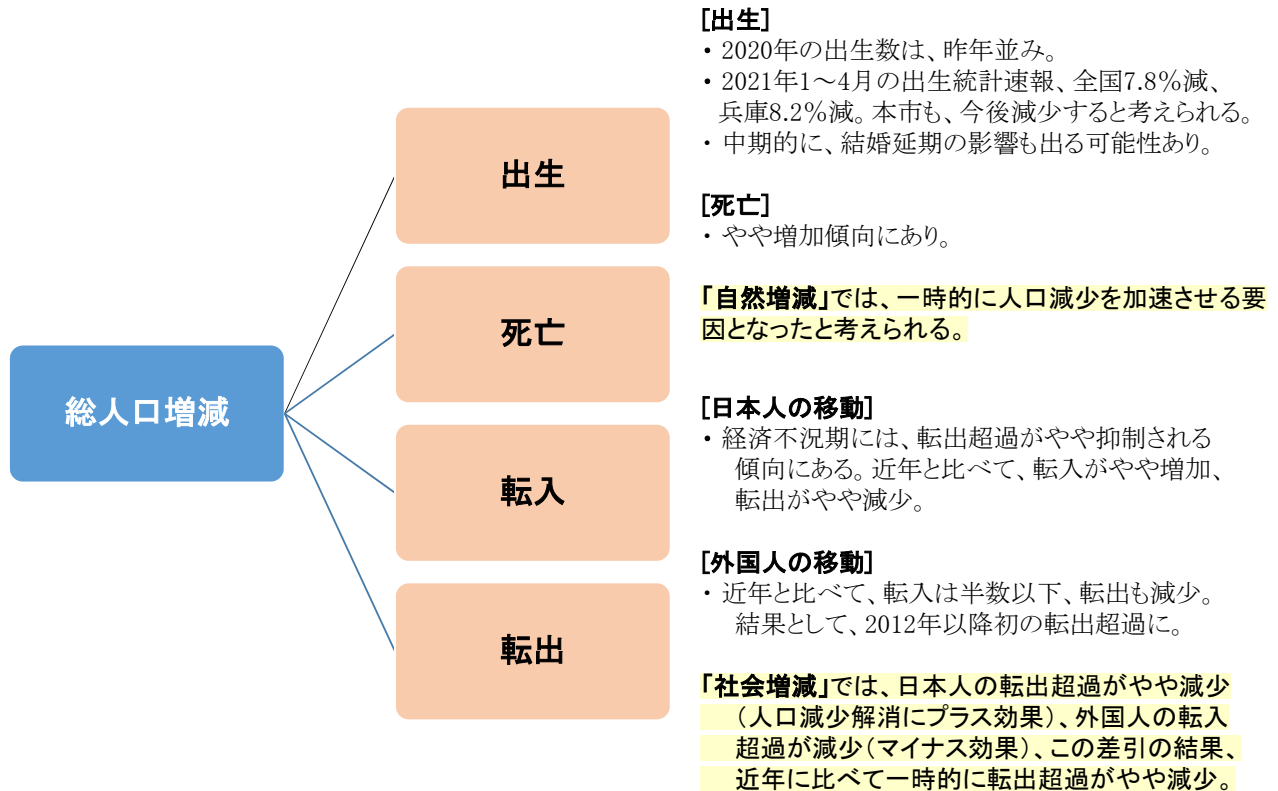
1. 2020年国勢調査速報(最新の総人口)



(出典)1920~2020年:総務省統計局「国勢調査」、2020~2060年:本市作成の「2019年基準推計」

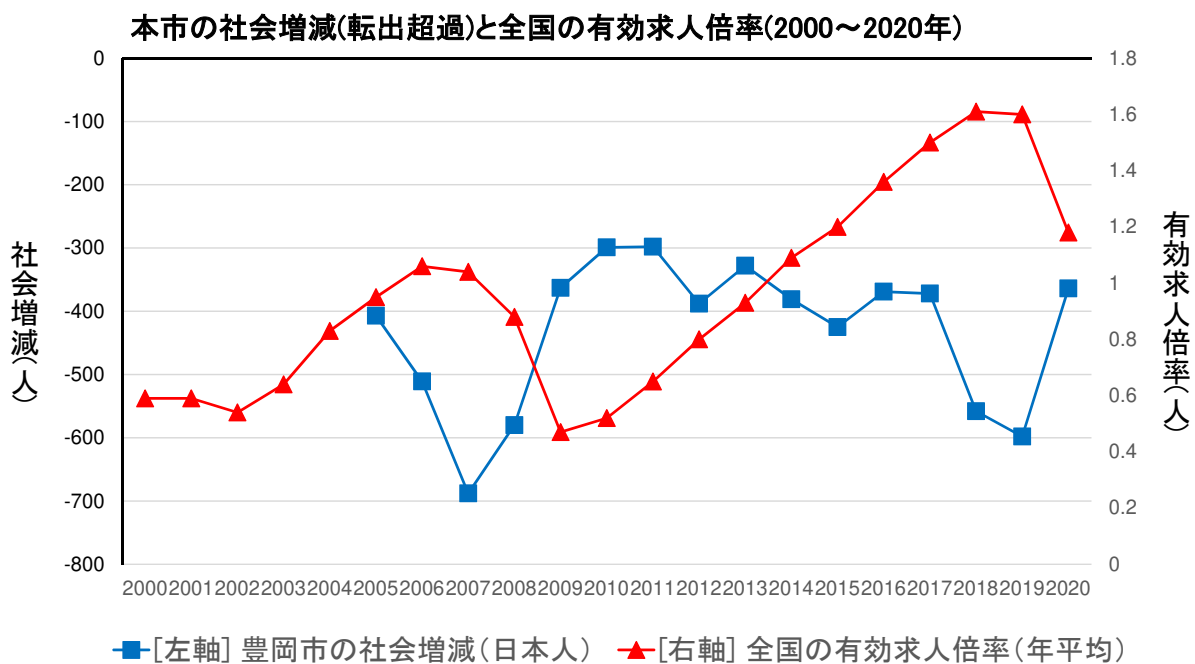
4

2. コロナ感染症の影響



5

2. コロナ感染症の影響



(出典)兵庫県企画県民部ビジョン局統計課「兵庫県の人口の動き」(2021.3)、総務省統計局「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」(2021.6)

6

2. コロナ感染症の影響

